



地方独立行政法人 広島市立病院機構  
 広島市立リハビリテーション病院  
 広島市立自立訓練施設

## 看護科案内

質の高いリハビリテーション看護のために

731-3168

広島市安佐南区伴南1-39-1

TEL 082-848-8001

FAX 082-848-8003



### 交通アクセス

#### 路線バス（広島電鉄）

- ・広島バスセンター④番ホームから「こころ西公園又はこころ産業団地」行きバス約30分……こころ北公園前下車
- ・JR横川駅前③番ホームから「こころ西公園又はこころ産業団地」行きバス約25分……こころ北公園前下車
- ・アストラムライン大塚駅から「こころ西公園又はこころ産業団地」行きバスに乗り換え約8分……こころ北公園前下車

#### 自動車

- ・山陽自動車道五日市インターから車で約7分
- ・広島自動車道西風新都インターから車で約5分



## ❁ごあいさつ

広島市立リハビリテーション病院  
総看護師長

奥田 加世



当院は回復期医療を担う、100床のリハビリテーション病院です。患者さんやご家族の気持ちに寄り添った思いやりのある看護を実践しています。そのためには、専門的知識・技術やコミュニケーション能力が必要になります。個々に対応した育成プランで知識とスキルを高め、成長を支援しています。一人ひとりが自分らしく輝き続けられることを大切に考え、看護の楽しさややりがいを感じてもらえるような職場を目指しています。思いやりの心、一人ひとりを大事に思う心は患者さんにも職員間でも同じです。このような温かい職場で一緒に歩んでくださる皆さんをお待ちしています。

### 看護科の理念

私たちは、利用者の皆様の立場を尊重し、「その人らしい生活」の再構築をするため、質の高いリハビリテーション看護を提供します。



## ❁病棟紹介

中途障害のある患者さんが自立して社会生活を過ごせるように、

専門性の高いリハビリテーション看護を提供しています

私たちリハビリテーション看護師は、疾患だけではなく、「その人らしさとは何か」を考えながら、時には家族のように寄り添い看護を行っています。また、チーム医療の一員として多職種と協働し、同じ目標が達成できるよう日々話し合いを重ねています。

バランスボールを用いた  
ムーブメントプログラムの実践



上肢の麻痺がある方へ  
装具を使用して食事を  
摂取出来るように介入

リハビリ時間以外での歩行訓練を  
実施して生活へ取り入れる

### 継続教育

年間教育計画に基づき、人材を育成しています。学習効果として、講義形式で10%、見たことは15%、体験したことは80%、教えたことは90%身につくと言われており、自己学習したものを各自講師になり、伝達する方法を行っています。救急看護、移乗の技術指導、口腔ケア、摂食・嚥下ケアなど、内容は充実しています。

個々の看護師が継続的に成長できるように、5段階のクリニカルラダーも構築しています。



ノロウイルス対応研修



BLS研修

## 教育方針

### 新人看護師教育

マンツーマンのプリセプターシップを取っている当院で育ってみませんか？

社会人一年生の大切な一年は看護の技術や知識はもちろんのこと、組織的役割を遂行する力を身につけるように丁寧に支援していきます。

入職してから慣れないことも多く不安を感じていましたが、プリセプターの先輩方が気にかけてくださり、相談しやすい環境で働いています。患者さんとの関わり方、看護技術、回復期リハ看護などわかりやすく丁寧な指導と助言をいただき、学びを得ることができています。看護技術はチェックリストを用いて評価していただき、振り返りの時間を作っていただいているため、自立して行える看護技術が増えてきました。



プリセプターという役割をいただき、はじめは緊張もありましたが、プリセプティだけでなく、自分自身がたくさんの気づきや学びがあり、現在はお互いが成長できているように感じています。プリセプティ指導では、ポジティブフィードバックを心がけています。はじめは不安もあると思いますが、回復期リハ看護のたのしさややりがいを感じながら、素敵な看護師になれるように全力でサポートしていきたいです。

図書室には沢山の参考書がおいでるので、分からないことがあれば勉強をすることが出来ます。わかることが増えると嬉しいし、やる気が出ます！



## 新人看護師の日常



基本的なフィジカルアセスメントやの急変時の対応など、様々な場面の臨床現場を実際に想像しながらプリセプターの指導の下、学んでいます



日々の業務の分からないことは、同じチームの先輩に聞き、学びを深めています。2年目になりできることが増えました！



同期で支え合い、1年間頑張りました。2年目になった今も同期は大切な存在です。現在も切磋琢磨しながらお互い成長出来るように頑張っています。

## 認定看護師・回復期リハビリテーション看護師の紹介

認定看護師は、熟練した看護技術と専門的な知識を用いて、看護現場において実践・指導・相談を行います。

現在は、摂食・嚥下障害看護認定看護師 1 名、脳卒中リハビリテーション看護認定看護師 1 名、皮膚・排泄ケア認定看護師 1 名、認知症看護認定看護師 1 名、回復期リハビリテーション看護師 2 名（回復期リハビリテーション病棟協会認定）が活動しています。

摂食・嚥下障害看護認定看護師：

「口から食べられる」から「自分で食べる」を多くの方の目標として、セルフケア拡大に向けての支援にも力を入れています。これは、円滑な退院支援にもつながることです。入院された患者さんが、充実した生活を送ることができるように、「口から食べる」ための支援を一緒に行っていきましょう。

皮膚・排泄ケア認定看護師：

これから新しく看護の世界に入られる皆様へ。看護の世界はより細分化、専門化されていきます。ぜひご自分の方向性を見出し、看護の発展に貢献できる人材となれるよう一緒に頑張っていきましょう。共にお仕事ができる日を楽しみにしています

回復期リハビリテーション看護師：

回復期リハビリテーション病棟協会が掲げる「看護・介護 10 か条」をより多く「できている」といえるよう日々のケアの質向上に取り組んでいます。看護師が多職種と協働し、回復期リハビリテーション看護が楽しい、やり甲斐があると思えるような職場づくりを目指し、ケアの質向上につながるよう日々活動しています。



脳卒中看護認定看護師：

脳卒中で障害を抱えた患者さんやご家族の方々に「その人らしさ」を取り戻せる生活再構築へ向けた看護の提供や、再発予防指導を行っています。一緒に頑張りましょう。

認知症看護認定看護師：

障害を持った高齢者の方の入院が増えています。住み慣れた環境から離れ、不安な思いを持ち懸命にリハビリに取り組まれています。そんな頑張る高齢者の方のお力になりませんか。一緒に愛のある高齢者看護を実践していきましょう

